



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ
コード番号 3032 URL <https://www.golfdo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 功
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二
四半期報告書提出予定日 2022年8月15日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
TEL 048- 851- 3111

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,693	16.2	57	32.0	60	29.1	37	40.8
2022年3月期第1四半期	1,457	31.4	85		85		63	322.5

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 60百万円 (7.0%) 2022年3月期第1四半期 64百万円 (341.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	15.08	14.82
2022年3月期第1四半期	25.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	3,411	842	23.7	323.11
2022年3月期	3,362	789	22.7	304.12

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 809百万円 2022年3月期 762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	9.9	272	11.3	260	4.6	172	24.5	68.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	2,605,642 株	2022年3月期	2,605,642 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	99,200 株	2022年3月期	99,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	2,506,442 株	2022年3月期1Q	2,505,013 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
売上高前年対比等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限が緩和され、試行錯誤を重ねながらも経済の正常化に向けた動きが本格化する一方で、第7波が急速に立ちはだかつており、予断を許さない状況が続いております。また、世界的なインフレによる各国の利上げに呼応するかたちで円安が急速に進行しており、物価上昇による個人消費の低迷や企業収益の悪化が強く懸念されております。

リユース市場においては、循環社会や環境保護への関心とリユースへのニーズが合致し、リユース市場への追い風は途切れることなく吹き続けております。また、市場をけん引する原動力の中心がEコマースや個人間売買であることに変わりはありませんが、物価高で強まる消費者の節約志向や一部新品の品薄感が中古品需要を力強く後押ししております。

ゴルフ用品市場においては、世界的な新型コロナウイルス感染症流行の影響による供給不足が未だ回復していない中で、ロシアのウクライナ侵攻の影響によるサプライチェーンの停滞が現実味を帯びてきております。なお、コロナ禍に伴うゴルフ需要（いわゆるコロナ特需）は一巡していると思われませんが、アパレル各社はコロナ特需における注目層であった女性ゴルファーに改めて注目しており、ゴルフウェアを中心とした女性需要が期待されております。なお、株式会社矢野経済研究所「YPSゴルフデータ」によりますと、2022年4月～6月の新品クラブ及びボールなど用品類の販売は、前年同月比において4月はキャディーバッグの金額以外は上回っておりますが、5月及び6月は堅調な用品類に対して、ウッド及びアイアンは数量、金額ともに下回っております。

ゴルフ場及び練習場においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、2022年4月～6月（6月は速報値）の利用者数前年同月比は、ゴルフ場が4月102.7%、5月112.6%、6月107.4%、練習場が4月97.7%、5月98.1%、6月96.3%となりました。ゴルフ場はゴルフ人気を背景に、予約が取りにくいという声を耳にしますが、その状況が数値にも表れていると推測されます。

このような経営環境のなか、当社グループでは「中期経営計画 Challenge2026」の強化項目である「EC戦略の強化」を最優先に取り組んでまいりました。2021年4月にリニューアルするも低空飛行が続いていたECサイト「ゴルフドゥ！オンラインショップ」ですが、継続的に機能及び利便性の向上に努めた結果、主に売上高はリニューアル以前の水準まで回復してまいりました。今後も更なる業績の向上を図り、今なお収益面において依存度が高い「ゴルフドゥ！」既存店舗以外で安定的な収益の確保ができるよう努めてまいります。また、4月にはシミュレーションゴルフを併設した新業態「ゴルフドゥ！NEXT」の1号店がオープンいたしました。業績は好調に推移するとともに、直営事業の売上高を押し上げており、早期に多店舗化への道筋をつけられるよう努めております。

直営事業においては、急激な気温の上昇に見舞われた6月後半を除き、「ゴルフドゥ！」直営店は概ね堅調に推移いたしました。同店の前年同月に対する伸長は前連結会計年度からは鈍化しておりますが、コロナ禍前である2019年同月に対しては大幅な伸長を維持しており、コロナ禍を切っ掛けに始めた新規ゴルファーの離脱は最小限に抑えられているものと推測されます。しかしながら、3ヶ月間を通して購入客数の減少を購入客単価の上昇で補う状況が続き、商品においても主力アイテムである中古クラブのドライバーが前年同月に対し販売単価は上回るものの、販売点数は下回る状況が続いており、どちらも立て直しが急務となっております。また、在庫調整のための値下げ販売により、粗利益率が若干ながら前年同四半期を下回り、粗利益額は前年同四半期を上回るものの、人件費等の増加分を吸収するまでには至りませんでした。なお、当第1四半期連結累計期間の同店の売上高前年増減率は、全店ベース2.4%増、既存店ベース0.02%減となりました。

フランチャイズ事業においては、中古クラブの品薄感からの買取り相場上昇に伴って、「ゴルフドゥ！」フランチャイズ店における中古クラブの販売価格も上昇しておりますが、ゴルフ業界への追い風を背景とした需要に支えられ、客数が減少するも単価上昇で補う構図が続いております。また、中古クラブの品薄感によって、同店の売上高は中古クラブの在庫量の差が色濃く現れる傾向にあります。なお、当第1四半期連結累計期間の同店の売上高前年増減率は、全店ベース0.8%減、既存店ベース4.3%減となりました。

当第1四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！」のオープンは以下であり、2022年6月30日現在の「ゴルフドゥ！」は、直営24店舗、フランチャイズ53店舗で合計77店舗となりました。

4月16日新規オープン 「さいたま三室店」（直営店 ※新業態「ゴルフドゥ！NEXT」）

4月29日新規オープン 「セルヴァンゴルフヒル山形店」（フランチャイズ店）

5月27日新規オープン 「新潟桜木店」（フランチャイズ店）

6月25日移転オープン 「札幌手稲店」（フランチャイズ店）

また、当第1四半期連結累計期間の売上高前年増減率は、全店ベース0.6%増、既存店ベース2.5%減となりました。

営業販売事業においては、米国輸入品の欠品や納期遅れの回復が思うように進まず、依然として厳しい状況が続きましたが、中古クラブの取扱いなどで卸営業の売上高は前年同四半期を上回りました。また、急速に進行する円安に伴って米国輸入品の卸価格が上昇しておりますが、多岐に渡る物価高が同時に進行していることで、お取引先様も過去の円安時と比べご理解を示されております。国内ECモールに出店している「GOLF J-WINGS」は、米国輸入品の供給が安定しないことや、優先的に中古クラブを「ゴルフドゥ！」の新店舗に回したことで、商品展開に苦心を重ねる状況が続いております。

アパレル事業においては、行動制限が緩和されたことで購入客数が前年同四半期を上回りました。また、春物需要が力強く購入客単価も前年同四半期を上回り、当第1四半期連結累計期間は3ヶ月連続で黒字となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高16億93百万円（前年同四半期比16.2%増）、営業利益57百万円（同32.0%減）、経常利益60百万円（同29.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益37百万円（同40.8%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（直営事業）

当第1四半期連結累計期間における直営事業の売上高は10億91百万円（前年同四半期売上高は10億62百万円）、セグメント利益は97百万円（前年同四半期セグメント利益は1億14百万円）となりました。

（フランチャイズ事業）

当第1四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は1億90百万円（前年同四半期売上高は1億77百万円）、セグメント利益は44百万円（前年同四半期セグメント利益は34百万円）となりました。

（営業販売事業）

当第1四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は4億8百万円（前年同四半期売上高は2億98百万円）、セグメント利益は6百万円（前年同四半期セグメント利益は11百万円）となりました。

（アパレル事業）

当第1四半期連結累計期間におけるアパレル事業の売上高は13百万円（前年同四半期売上高は12百万円）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期セグメント利益は1百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ49百万円の増加となり、34億11百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2百万円の増加となり、26億5百万円となりました。これは主に現金及び預金が65百万円減少、売掛金が25百万円、商品が56百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ46百万円の増加となり、8億5百万円となりました。これは主に有形固定資産が69百万円増加、長期貸付金が19百万円減少したことによるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ3百万円の減少となり、25億68百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億19百万円の減少となり、16億52百万円となりました。これは主に買掛金が1億30百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億15百万円の増加となり、9億16百万円となりました。これは主に長期借入金が1億13百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ52百万円の増加となり、8億42百万円となりました。これは主に利益剰余金が25百万円、為替換算調整勘定が20百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は23.7%（前連結会計年度末は22.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日付で公表いたしました内容に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	724,617	659,537
売掛金	421,932	447,481
商品	1,350,776	1,407,746
短期貸付金	9,561	5,858
未収還付法人税等	32,095	21,472
その他	65,276	64,442
貸倒引当金	△1,360	△1,360
流動資産合計	2,602,899	2,605,178
固定資産		
有形固定資産	216,257	286,162
無形固定資産	209,808	218,743
投資その他の資産		
投資有価証券	13,510	14,982
長期貸付金	57,757	37,914
敷金及び保証金	179,920	178,886
繰延税金資産	40,258	31,290
その他	43,875	40,242
貸倒引当金	△2,595	△2,595
投資その他の資産合計	332,725	300,720
固定資産合計	758,792	805,626
繰延資産		
社債発行費	652	549
繰延資産合計	652	549
資産合計	3,362,344	3,411,353
負債の部		
流動負債		
買掛金	519,379	389,239
短期借入金	800,560	777,778
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	179,024	208,994
未払法人税等	735	1,829
賞与引当金	39,699	15,855
ポイント引当金	33,313	34,529
株主優待引当金	10,857	6,832
資産除去債務	2,800	2,800
その他	165,842	194,787
流動負債合計	1,772,212	1,652,644
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	509,271	622,740
退職給付に係る負債	145,911	151,964
資産除去債務	80,379	86,562
その他	44,800	44,800
固定負債合計	800,362	916,067
負債合計	2,572,574	2,568,712

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,838	515,838
資本剰余金	169,240	169,240
利益剰余金	124,171	149,425
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	711,042	736,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,741	△269
為替換算調整勘定	52,957	73,826
その他の包括利益累計額合計	51,215	73,556
新株予約権	27,511	32,788
純資産合計	789,769	842,641
負債純資産合計	3,362,344	3,411,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,457,414	1,693,874
売上原価	884,840	1,107,358
売上総利益	572,574	586,516
販売費及び一般管理費	487,282	528,516
営業利益	85,291	57,999
営業外収益		
受取利息及び配当金	807	682
受取手数料	1,167	1,417
為替差益	661	92
助成金収入	89	2,301
その他	1,106	1,356
営業外収益合計	3,831	5,850
営業外費用		
支払利息	3,904	3,246
その他	199	313
営業外費用合計	4,104	3,559
経常利益	85,019	60,290
特別利益		
債務免除益	4,380	—
特別利益合計	4,380	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,837
特別損失合計	—	1,837
税金等調整前四半期純利益	89,399	58,453
法人税、住民税及び事業税	9,357	11,209
法人税等調整額	16,227	9,458
法人税等合計	25,584	20,667
四半期純利益	63,814	37,785
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,814	37,785

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	63,814	37,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,203	1,472
為替換算調整勘定	△392	20,869
その他の包括利益合計	810	22,341
四半期包括利益	64,624	60,127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,624	60,127
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計 上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,062,392	104,954	277,548	12,519	1,457,414	—	1,457,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,435	20,799	—	23,234	△23,234	—
計	1,062,392	107,390	298,347	12,519	1,480,649	△23,234	1,457,414
セグメント利益	114,214	34,562	11,571	1,535	161,884	△76,592	85,291

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計 上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,091,721	187,356	400,898	13,898	1,693,874	—	1,693,874
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,056	7,925	—	10,981	△10,981	—
計	1,091,721	190,412	408,824	13,898	1,704,856	△10,981	1,693,874
セグメント利益	97,925	44,603	6,286	1,476	150,292	△92,292	57,999

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

売上高前年対比等

当第1四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2022年4月	2022年5月	2022年6月	第1四半期合計
ゴルフドゥ！ 全店	98.2%	102.3%	101.3%	100.6%
ゴルフドゥ！ 既存店	96.3%	99.1%	97.1%	97.5%
同 直営店 全店	100.1%	101.8%	105.4%	102.4%
同 直営店 既存店	99.0%	99.4%	101.6%	99.98%
同 FC店 全店	96.7%	102.6%	98.2%	99.2%
同 FC店 既存店	94.2%	98.9%	93.8%	95.7%

当第1四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！オンラインショップ」売上高前年対比、アクセス数前年対比、会員数（合計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2022年4月	2022年5月	2022年6月	第1四半期合計
売上高前年対比	103.9%	119.7%	123.8%	115.4%
アクセス数前年対比	105.8%	97.9%	93.5%	98.7%
会員数（合計）				369千人
会員数前年増加率				5.9%

(注) 会員数は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフドゥ！」店舗の会員数とは異なります。